

鹿児島地域振興局農林水産部農政普及課

# 鹿児島地域アグリ通信

編集発行 鹿児島地域振興局農林水産部農政普及課  
〒892-8520 鹿児島市小川町3番56号  
TEL 099-805-7372 FAX 099-805-7378

2021.7

## 令和3年度の普及指導活動方針について、説明します

農政普及課長 田中 重行

昨年度は、1年を通して、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた年でした。従来の普及指導活動に加え、需要低下等による収入減などの影響を受けた農業者等の皆様に対する経営支援、需要回復やポストコロナを前提とした新たな需要喚起を図るため、国や県等の支援対策の周知や申請手続き支援、個別経営相談などを行いました。

今年度に入り、4月25日に3回目の国の「緊急事態宣言」が出され、県では、5月7日に「感染拡大警報」を発令したところです。

このような状況の中、令和3年度の普及指導活動にあたっては、引き続き感染症防止対策を講じながら進めてまいります。

令和3年度の普及指導活動の内容は、次のとおりです。

- ① 桜島地域営農が持続的に発展するための生産体制づくり
- ② 地域営農が持続的に発展するための仕組みづくり
- ③ 鹿児島市の農業を支える担い手の確保・育成
- ④ 都市近郊の多彩な消費者ニーズに応える産地づくり
- ⑤ 三島村・十島村の農畜産業の振興



(一部オンライン参加による会議)

上記5つを基本課題として、地域農業の技術・経営に関する課題解決、及び担い手のＩＣＴ等技術革新や経営強化に向けた取組等を支援する普及指導活動への重点化を図ります。

特に、円滑に普及活動を進めるに当たっては、指導農業士や女性農業経営士や関係機関等との連携、役割分担を図りながら、総合力を発揮した活動の展開に努めます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う農業者等の経営継続を引き続き支援するとともに、当感染症収束後の生産から販売等のあり方を見据えた活動を実施してまいります。

皆様、令和3年度も、よろしくお願いします。



(感染防止対策を講じての現地研修)

## トラクターのシートベルト、ヘルメットで命を守ろう！

全国でも毎年、約300件の農作業死亡事故が発生し、その半数は乗用型トラクターに関連しています。鹿児島県内でも同様に、事故が後を絶たない状況が続いている。

建設業などでも死亡事故が減少傾向にあることと比較して、農作業死亡事故が減少しない原因の一つとして、「シートベルト、ヘルメットの非着用」が考えられます。

一方、社会全体で高齢化が進んでいるにも関わらず、人口10万人あたりの高齢者死者数が直近10年間で8.58人から4.45人と半減している要因として、平成25年の警察白書では、「シートベルト着用者率の向上」をあげています。

大きな負担なく実践できるシートベルト、ヘルメット着用で、事故による被害の危険性を大幅に減らすことができます。大切な命を守るためにぜひ実践してください！



## 令和3年度のパソコン簿記記帳会の案内です

鹿児島市担い手育成対策部会と共に、本年度も下記の日時・会場でパソコン簿記記帳会を開催します。青色申告に取り組む方は誰でも参加できますが、ノートパソコンと農業簿記ソフトの準備が必要です。

また、新規就農者を応援するために、認定新規就農者は特別価格で農業簿記ソフトを購入できるので、農政普及課まで、お問い合わせください。

会場(時間)	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
都市農業センター (10:00～15:00)	実施済み	7月 7日(水) 9月 1日(水)	10月 10日(水) 11日	1月 5日(水) 2月 2日(水)
鹿児島市吉田支所 (13:30～16:00)	実施済み	7月20日(火) 9月14日(火)	11月16日(火)	1月11日(火) 2月 1日(火)
鹿児島市桜島支所 (13:30～16:00)	実施済み	7月13日(火) 9月 7日(火)	11月 9日(火)	1月18日(火) 2月15日(火)
鹿児島市喜入支所 (13:30～16:00)	実施済み	9月28日(火)	11月30日(火)	1月25日(火) 2月22日(火)
鹿児島地域振興局 (9:00～16:00)	2月17日(木)	2月24日(木)		

## サツマイモ基腐病に対して、アミスター20フロアブルが新たに登録されました

サツマイモ基腐病の本ぼでの防除薬剤として、令和3年2月に、アミスター20フロアブルが新たに登録されました（表）。この薬剤による1回目の防除適期は定植5週目ごろで、異常株を取り除いて防除します。その後は、この薬剤の連用を避けるため、うね間に水がたまる降雨後に、銅剤（ジーファイン水和剤、Zボルドー水和剤）と交互散布します。

表 サツマイモ基腐病に対するアミスター20フロアブルの使用方法

希釈倍率	使用液量	使用時期	使用回数
2,000倍	100～300L／10a	収穫14日前まで	3回以内

※令和3年5月11日現在

# 雑草の種類を知って、最適な除草剤を選びましょう

農地の雑草は、作物と光や養水分を競合したり、作物に有害な病害虫の発生源になるため、減収や、品質低下させる原因のひとつとなります。そのため、雑草対策は作物生産に重要です。

雑草対策では、除草剤が利用されることがあります。この除草剤の効果を高めるためには、①耕種的防除との組み合わせ、②最適な除草剤を選ぶ、③薬剤の使用時期を守る、ことが必要です(表1)。

このうち、最適な除草剤を選ぶ際には、最も繁殖している(しそうな)雑草の種類を知ることが必要です。雑草は、「形態」と「生活型」で分類されます(表2,3)。この分類で類別した種類を知ることは、最適な除草剤を選ぶ手立てのひとつとなります。

表2 形態型による主な分類とその特徴

形態による主な分類	主な特徴		
	葉の形	茎の形	葉鞘
イネ科雑草	線形	線形	卵形
カヤツリグサ科雑草	円形	3稜茎	円形
広葉雑草	非筒状	筒状	—

表3 生活型による分類の主な特徴

生活型による分類	主な特徴
一年生雑草	①簡単に引き抜ける ②引き抜くと根がついてくる
多年生雑草	①引き抜きにくい ②引き抜くと根が切れてしまう ③根といっしょに根茎などがついてくる

# 珪鉄によるほうれんそう萎凋病対策について、説明します

夏期のほうれんそう栽培では、フザリウム菌による萎凋病の被害が発生し、生産が不安定になっています。ガスタード等の粒剤処理もありますが、効果が不十分です。

農政普及課では関係機関・農家の協力を得て、吉野地区で2年間、珪鉄によるほうれんそう萎凋病対策の実証を設置してきました。

その結果、珪鉄を10t/10a程度施用すると土壌pHは7.5以上に上昇し、本菌による萎凋病の発生はほとんどなく生産が安定することを確認することができました。

土壌pHは5年以上、7.5以上に維持され、長期にわたりその効果が持続します。珪鉄から微量元素が供給されるため、微量元素の欠乏症の発生はありません。

珪鉄の散布コストは施用量を10t/10aとすると約30万円/10a要しますが、効果が長期に維持され、生産が安定することを考慮すると、導入メリットはあると考えられます。

本処理は、ほうれんそう萎凋病の他、根こぶ病、青枯病等には効果がありますが、ばれいしょそうか病には効果がなく、発病を助長するなど注意が必要です。

投入量をほ場ごとに計算する必要がありますので、この技術を導入したい方は農政普及課三角まで連絡ください。



珪鉄区（手前）、慣行区（奥）

# 令和2年度の各種農業士の認定者を紹介します

鹿児島地域の3名の農業者が令和2年度に「女性農業経営士」、「青年農業士」に知事から認定されました。今後ますますのご活躍を期待いたします。

## ★女性農業経営士

農業経営に積極的に参画し、農家生活や農業経営・労働管理等の改善を実践しながら、発言力や実行力のある女性農業者として活動します。



園山 祥子さん（野菜）



横山 薫さん（野菜）

## ★青年農業士

プロジェクト活動や農業青年クラブ活動に積極的に取り組み、地域農業振興の若手リーダーとして活動します。



枇榔 直生さん（野菜）

## 地域農業の振興に、職員一同がんばります！

### 農業振興係



田中重行  
(農政普及課長)  
(補佐兼係長)



中園千尋  
(補佐兼係長)



永井貴子



佐藤京子



野田保子



稻森陽子



海田孝二郎



中馬修一

### 畜産振興係



原田直人  
(主幹兼係長)



原由香



増田淳一郎  
(主幹兼係長・経営)



河口幸一郎  
(主幹兼係長・経営)



野間直美  
(経営)



水島真一  
(経営)

### 経営普及係



小濱美弘  
(主幹兼係長・野菜)



上原俊彦  
(畜産)



重光雄  
(茶)



黒木麻子  
(畜産)



郡山啓作  
(花き)



三角洋造  
(野菜)

### 技術普及係

